

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（平成30年度期末）

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・全地域の総会に参加し、支援メニューアンケートを実施することで、各地域の支援ニーズを把握することができ、地域と行政の間でも課題認識が共有されたことから、支援の有効性が認められる。 ・地域公共人材による専門家を迎えてのワークショップは、地域の方々にとって、大きな刺激となり、新たな人材が加わるなど、地域のモチベーションアップまた一体感にも繋がったことで、支援の有効性が認められる。 ・役員改選があっても後退しないような仕組みが必要。今のやり方を引き継ぐだけでなく、交替を機に分業化や役員の負担軽減策を講じてもらいたい。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の支援状況（実績）及び効果等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が自ら企画しての活動（会計ソフト開発及びホームページのモバイル化）に対して、きめ細かく対応できていることから、支援の有効性が認められる。 ・今後、研修会等の活用を通じて、専門的知識の習得、ネットワークの拡大など個々のスキルアップに努めながら、更に専門的な知見から支援できるよう取り組んでいく必要がある。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・全地域の総会に参加し、支援メニューアンケートを実施することで、各地域の支援ニーズを把握することができ、地域と行政の間でも課題認識が共有されたことで、ワークショップへの意欲に繋がり、課題を解決しようとする動きが広がっていることから、支援の有効性が認められる。 ・自主財源の確保についても、具体的な取組みが実施され、更に検討が進んでいることから、支援の有効性が認められる。 ・ワークショップにおいて、意見交換が活発になるようなコーディネートを通じて、世代を超えた連携が行われていることは具体的な実績として、認められる。 ・「担い手の確保」については、地活協の役員候補を探すだけでなく、活動の協力者を募るという取り組みが必要である。

4 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）
 - (2-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
 - (2-2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
 - (2-3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
 - (2-4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に応じた支援を行うことができしており、支援の有効性が認められる。

5 総合評価【全体】

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・支援メニューアンケートの結果をもとに、区の支援スケジュールと各地域の支援ニーズをマッチングさせることで、地域の実情に応じたきめ細かいサポートが出来たと考える。

(評価基準)

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。